

羽田新ルート 固定化回避へ 国交省が検討会立ち上げ

首都圏の都心上空を飛行する羽田空港の新ルートについて、国土交通省が固定化の回避策を検討する有識者検討会を立ち上げるとしていることが分かりました。同省が5日、日本共産党の山添拓参院議員に回答しました。



住民から強い反対や不安の声

新ルートは3月29日から運用が始まり、南風時には新宿、渋谷、目黒、港、品川各区などの上空を飛行して着陸します。騒音や低空飛行による圧迫感、落下物や事故への懸念など住民から強い反対や不安の声があがっています。

「固定化しない方策」 検討へ

国土交通省の担当者は「住民や自治体から『固定化しないでほしい』との要望をいただいている」とし、「新経路を固定化しない方策を技術的に洗い出し、メリット、デメリットを整理したい」

と述べました。検討会は6月中に立ち上げ、来年3月までに選択肢を示すとし、検討会の委員はパイロットや航空管制の知識を持つ人などの有識者で構成するとしました。

都心低空飛行は断念せよ

山添氏は、赤羽一嘉国交相が「新たな選択肢を期待する」と述べたことについて、「都心上空ルートに代わる方法を含めて検討するのか」とただし、国交省の担当者は「そうです」と答えました。また、国交省は新ルート下での騒音測定結果について「公表に向け準備している」と答えました。



東京都委員会 HP
「羽田新ルート特
集」はこちら

命・くらし、民主主義守るため全力!!

皆さんと力を合わせ頑張ります

日本共産党は市民と野党の共闘を広げ、都民の命・くらしを守る都政への転換をすすめます。ぜひピラをご覧ください→



東京
民報

ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2020年6月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行 / 東京民報社 (港区芝 1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党

羽田新ルート 固定化回避へ 国交省が検討会立ち上げ

首都圏の都心上空を飛行する羽田空港の新ルートについて、国土交通省が固定化の回避策を検討する有識者検討会を立ち上げるとしていることが分かりました。同省が5日、日本共産党の山添拓参院議員に回答しました。



住民から強い反対や不安の声

新ルートは3月29日から運用が始まり、南風時には新宿、渋谷、目黒、港、品川各区などの上空を飛行して着陸します。騒音や低空飛行による圧迫感、落下物や事故への懸念など住民から強い反対や不安の声があがっています。

「固定化しない方策」 検討へ

国土交通省の担当者は「住民や自治体から『固定化しないでほしい』との要望をいただいている」とし、「新経路を固定化しない方策を技術的に洗い出し、メリット、デメリットを整理したい」

と述べました。検討会は6月中に立ち上げ、来年3月までに選択肢を示すとし、検討会の委員はパイロットや航空管制の知識を持つ人などの有識者で構成するとしていました。

都心低空飛行は断念せよ

山添氏は、赤羽一嘉国交相が「新たな選択肢を期待する」と述べたことについて、「都心上空ルートに代わる方法を含めて検討するのか」とただし、国交省の担当者は「そうです」と答えました。また、国交省は新ルート下での騒音測定結果について「公表に向け準備している」と答えました。



東京都委員会 HP
「羽田新ルート特
集」はこちら

命・くらし、民主主義守るため全力!!

皆さんと力を合わせ頑張ります

日本共産党は市民と野党の共闘を広げ、都民の命・くらしを守る都政への転換をすすめます。ぜひピラをご覧ください→



参議院議員(東京選挙区選出)

やまぞえ・たく

山添 拓

日本共産党

東京
民報

ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2020年6月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可